受け継がれて120年

～共愛、共生の灯火～

120th 世界と交響する愛

共愛の朝は礼拝で始まる

キリスト教主義に基づく教育を実践する前橋市の共愛学園が2008年に、創立120周年を迎える。明治時代、日本が近代化を進める中、群馬県では公娼廃止運動が展開され、数々の福祉事業、女子教育の重要性が説かれた。その運動の中心的な人物の多くは、新島襄をはじめとするクリスチャンたちであり、そのエネルギーは彼らの「地域を共に愛し」「地域と共に生きる」使命感にあり、その一つが当時、非常に立ち遅れていた女子教育にあった。共愛学園は、その彼らの信仰の祈りにより生まれた学園であり、女子教育においては群馬県における草分け的な存在である。120年を歩んだ現在では、それぞれ男女共学の4年制大学、中学、高校、幼稚園が併設されている。今回は学園の創設期を中心にその歴史的な歩みについて、栗原昭正理事長と高橋康三上毛新聞社社長が対談した。

栗原理事長、高橋社長対談

高橋康三上毛新聞社社長

栗原昭正理事長

共愛学園120周年 ▶1

今に生きる建学の想い

群馬に根付くキリスト教主義教育

高橋　共愛学園は1888年（明治21年）の設立以来、群馬県におけるキリスト教主義学校の象徴的存在であるとともに、養蚕、製糸業の繁栄に伴い、生糸貿易に携わることで欧米の近代文明に触れ、そのことを通してキリスト教に出会った人々が、故郷群馬の地にその教えを伝えようとしました。これらの人々はキリスト教主義に基づく人権、自由民権思想の持ち主で、その信仰により、男女平等の実現と、極端に立ち遅れている女性の地位向上を目指して行動したのです。

高橋　新島襄が1875年に帰国して、安中で英学校教師でもあった不破唯次郎の夫人で、神戸女学院卒の前橋出身の女性宣教師・不破きよ、笹尾ぬい、村山ゆきなどです。

不破唯次郎は同志社を卒業後、新島襄のあっせんで前橋教会に牧師として赴任したのですが、彼と妻のきよ、高津仲次郎、深沢利重、関農夫雄らを中心に、女子教育に使命感を持ちその信仰的な連動に共鳴した近隣の教会の信徒たちにより、女子のための学校設立の懸命な努力が続けられますが、その時、ひとつの事件が起きます。

鍋屋事件

高橋　有名な鍋屋事件ですね。

栗原　そうです。1888年2月29日。高津仲次郎、深沢利重など主だった人々が、女学校設立の相談のため、前橋の鍋屋旅館に集まった際、彼らの活動が反国家主義者たちの政治活動と疑われ、そこにいた八人が「保安条例違反容疑」で逮捕され、前橋刑務所に収監されるという事件が起こります。これが鍋屋事件です。

この事件をきっかけに、女学校設立の機運が高まり、1888年5月前橋英和女学校が前橋市南曲輪町（現大手町）に誕生したのです。初代の校長は不破唯次郎です。彼らからすれば、あの事件は神の導きだったのでしょう。

高橋　創立記念日は鍋屋事件の日と伺いました。

栗原　本来、本学園の創立記念日はこの事件を記念し、2月29日とすべきだったのですが、この日は10月29日としていました。

翌年の1889年、この前橋英和女学校が上毛共愛女学校と改称します。

アメリカン・ボード

高橋　アメリカン・ボードから派遣された宣教師たちの活動には、1892年（明治25年）の上毛孤児院の設立などに見る、貧しい者、悲しむ者への奉仕活動があります。

栗原　また、この学校の設立には、同志社の創立者、新島襄と、彼の協力によって派遣されたアメリカにおける外国伝道委員会であるアメリカン・ボードの支援と協力があったことは重要です。

この「ボード」（委員会）から派遣された女性宣教師ミス・シェッドが、財政的にも環境的にも、非常に困難な状況の中で英語教育や学生の生活指導をしました。現在、本学園内にある群馬県指定重要文化財の旧アメリカン・ボード宣教師館は、その派遣された宣教師たちの住居でした。

当時、わが国の女性の地位は極めて低く、女子教育はほとんど無視され、女の子は小学校にすら入れない子が多く、まして中等学校の教育に至っては思いもよらぬことでした。

しかし、本学を支援したアメリカン・ボード宣教師たちは、学園の設立者たちの信仰による女子教育の使命を果たす努力を担ったと考えます。ですから決してキリスト教信仰を押し付けることはしなかったようです。宣教師たちは学生と共に生活することを通し、その人格的な生き方を通して、学生たちに生きる感動を与えたのです。

鍋屋事件釈放後の記念撮影

新島襄

栗原　また、この学校の設立には、同志社の創立者、新島襄と、彼の協力によって派遣されたアメリカにおける外国伝道委員会であるアメリカン・ボードの支援と協力があったことは重要です。

この「ボード」（委員会）から派遣された女性宣教師ミス・シェッドが、財政的にも環境的にも、非常に困難な状況の中で英語教育や学生の生活指導をしました。現在、本学園内にある群馬県指定重要文化財の旧アメリカン・ボード宣教師館は、その派遣された宣教師たちの住居でした。

当時、わが国の女性の地位は極めて低く、女子教育はほとんど無視され、女の子は小学校にすら入れない子が多く、まして中等学校の教育に至っては思いもよらぬことでした。

しかし、本学を支援したアメリカン・ボード宣教師たちは、学園の設立者たちの信仰による女子教育の使命を果たす努力を担ったと考えます。ですから決してキリスト教信仰を押し付けることはしなかったようです。宣教師たちは学生と共に生活することを通し、その人格的な生き方を通して、学生たちに生きる感動を与えたのです。

「共愛」の由来

高橋　ところで学園の名称である「共愛」の由来は何ですか。

栗原　「共愛」という名称の起こりは、1888年まず前橋英和女学校の支援組織、今で言えば「後援会」名を「共愛社」としたことにあります。その確かな根拠を語る資料はありませんが、「共愛」の「愛」は神の無限の「愛」を意味し、その神の愛によって生きる喜びを知る者が「共々に愛の絆（きずな）を育み」、神によって与えられた「他者のために生きる使命を共々に果してゆく」。生きる喜びと、生きる使命を語っていると私は考えています。

これは聖書に語られるキリストの言葉である「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」（ヨハネによる福音書と同じ意味内容です。

高橋　共愛女学校の設立には、また近隣のキリスト教会の婦人会の献金が、大きな力となったと聞きますが。

レプタ献金

栗原　学園の運営が非常に困難な状況を知り、創立の使命である女子教育をなんとしても継続したいと願う祈りが、近隣のキリスト教会婦人会の人々によって続けられ、一日一厘（一厘は今の一円に等しい）を倹約し、それをもって上毛共愛女学校の支援活動資金とする運動が起こりました。それを「レプタ献金」といいます。

「レプタ」とは聖書に出てくる貨幣の最小単位です。その献金が150円になり、その資金をもとに、前橋市岩神村に校舎の用地を購入し校舎を建築します。

このことからも学園設立の背景には、地域における女子教育を果たしたいと願い、そのために犠牲と奉仕を惜しまない多くの人々の信仰の灯火があったことを忘れることはできません。

学園の教育理念

高橋　創立期を振り返り、共愛学園が果たしてきたキリスト教主義に基づく女子教育の理念はどのようなものだったのでしょうか。

栗原　前橋英和女学校の設立に尽した人々の一人、深沢利重はこんなことを語っています。

「人類社会の発展進歩と平和幸福を求むるは、男子の教育より女子の教育に重きを置かねばならぬのではありませんか」

しかしこの時代、女子教育の目標は、「良妻賢母の育成」という言葉で語られましたが、その中心は「国家」のために尽す国民つくりにあり、一人の人格としての女性、人間としての女性という視点では、ほとんど見られなかったのではないでしょうか。そのような時代に、女子の教育の重要性を語る背景には、おそらく、彼のキリスト教信仰があったと思います。

明治の国家体制が確立してゆく中で、キリスト教主義に基づく女子教育の理念を貫くことが大変困難になってゆく状況でしたが、一人の人格として生きる命の重さを知るために、聖書を学び、礼拝を捧げるというキリスト教主義教育の基本は失われませんでした。それは現在も続いている「共愛」「共生」の理念の灯火なのだと思います。

アメリカン・ボード宣教師館

行き届いた教育

【幼稚園】

園児がキリストの愛を心と体にいっぱい受け、やさしい子（思いやりのある子）、元気な子（心身ともに健康な子）、考える子（自分で考え、周囲と協調しながら、行動できる子）として、共に愛し合うことのできる人間になる第一歩を踏み出すことに教育の目標をおいています。

大学教員とボランティア学生による幼稚園課外活動

【中学校・高等学校】

中学校では土曜日にも授業を実施することで授業数を確保し、朝および放課後の補習も行っています。また、長期休暇中にも生徒に応じ主要５教科の補習を行っています。

教師と生徒間、生徒どうしの間が大変和やかであり、一人一人が神に愛されているという自覚のもとに、自主、自律の精神を育てることができるよう、目のゆき届いた支援と励ましの教育を行っています。

高等学校では卒業後の多様な進路に対応できるコース制を採用、英語科に特進、進学、普通科に文科、総合、理数の５コースを設置しています。

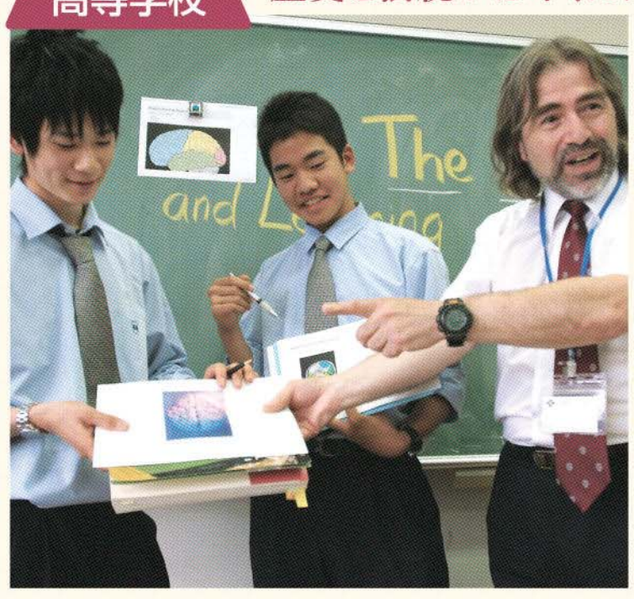
また、一年の長期留学へ毎年20人以上の生徒を派遣するのをはじめ、短期の海外研修も充実しており、海外からの留学生（数十人）も積極的に受け入れ、異文化交流を行っています。また、５人のネイティブ・スピーカーが常勤しており、授業だけでなく、普段の生活の中で生徒達が自由に接することができ、英会話を気軽に楽しんでいます。

【前橋国際大学】

前橋国際大学は国際社会学部国際社会学科の単科大学です。学部・学科は１つですが、600を超える授業を開講しており、専攻は国際社会と地域児童教育の２つに分かれます。国際社会専攻はさらに英語、国際、情報・経営、心理・人間文化の４コースに分かれ学生の興味・関心に対応しています。地域児童教育専攻は小学校教員養成課程として文部科学省より認定されており、来年度初めての卒業生を送り出します。

総定員840人の小さな大学ですが、学生中心主義を開学当初から実践し、授業や大学運営に学生の意見・要望を反映しています。毎年実施する学生アンケートでは「この大学で勉強できて良かった」とほとんどの卒業生が答えています。

高等学校　歴史と伝統がはぐくんだ共愛の文化をステップに世界へ



■2008年度　募集要項

募集人数	英語科特進コース	30名（男・女）
	英語科進学コース	60名（男・女）
	普通科	332名（男・女）

試験日

英語科特進選抜入試	英語科特進コース	1月11日（金）
推薦入試	英語科進学コース	1月12日（土）
	普通科	1月12日（土）
一般入試	英語科進学コース	2月１日（金）
	普通科	2月１日（金）

試験科目

英語科特進選抜入試
国語・数学・社会・理科・英語（リスニング含）・面接
※英検2級以上合格者、またはTOEIC 480点以上の者は、作文・面接のみ
※英検準2級合格者は、国語・数学・英語（リスニング含）・面接のみ

推薦入試
○英語科進学コース／作文・面接 ※英検準2級以上合格者は、面接のみ
○普通科／作文・面接

一般入試
○英語科進学コース／国語・数学・社会・理科・英語（リスニング含）・面接
○普通科／国語・数学・社会・理科・英語・面接

中学校　中高一貫のキリスト教主義教育

■2008年度　募集要項

募集人数	90名（男・女） 第2回・3回募集人数約30名（男・女）
試験日	第2回　1月13日（日） 第3回　2月19日（火）
試験科目	第2回（一般）国語・算数・面接 第3回（一般）国語・算数・面接

幼稚園　人と自然と共に愛し合える素直な子どもたちをはぐくみます

■2008年度　募集要項

募集人数　30名程度（ご相談に応じます）

入園資格
年少（3歳児）
2003年4月2日～2004年4月1日生まれ
年中（4歳児）
2002年4月2日～2003年4月1日生まれ
年長（5歳児）
2001年4月2日～2002年4月1日生まれ

幼稚園ステンドグラス

前橋国際大学

幅広い教養と専門分野の知識が身に付く
“専攻・コース制”を“少人数制”で実施

国際社会学部　国際社会学科

国際社会専攻	英語コース 国際コース 情報・経営コース 心理・人間文化コース
地域児童教育専攻	小学校教員養成課程

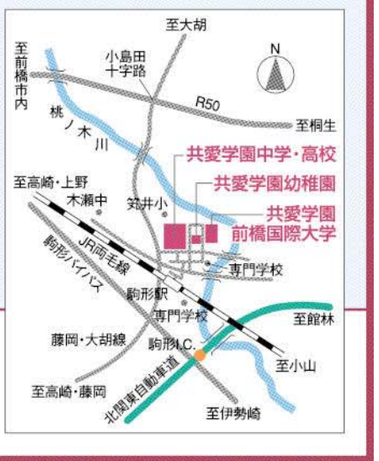
■2008年度　入試日程　※公募制推薦は併願可　AO:国際社会専攻のみ

	出願期間	試験日	合格発表	選抜方法
AO	受付中～2/12（火）	12/29（金）までの間に全5回	試験の約1週間後	1. 適性検査　2. エントリーシートに基づく面接 3. レポート作成orHP作成（情報・経営コース受験者のみ）とそれに基づく面接
推薦B	受付中～12/18（火）	12/22（土）	12/26（水）	指定制:面接　公募制:国際社会専攻（小論文・面接） 地域児童教育専攻（小論文または国語・面接）
スカラシップA	受付中～12/18（火）	12/22（土）	12/26（水）	英・国・数から2教科以上選択、高得点の2教科を使用

※3年編入、社会人入試も実施しています。　問い合わせ先:入試広報センター〈フリーダイヤル〉0120-5931-37（こくさい みんな）

市民クリスマス
12/15（土）16:00～18:00
中高礼拝堂

★小学生以下のお子様にはプレゼントをご用意しております。お誘い合わせの上、ぜひお出かけください。



学校法人 共愛学園

共愛学園前橋国際大学
〒379-2192 前橋市小屋原町1154-4
TEL.027-266-7575　FXA.027-266-7576
http://www.kyoai.ac.jp

共愛学園中学校・高等学校
〒379-2185 前橋市小屋原町1115-3
TEL.027-267-1000　FXA.027-267-1001
中学校 http://www.js.kyoai.ac.jp
高　校 http://www.hs.kyoai.ac.jp

共愛学園幼稚園
〒379-2121 前橋市小屋原町1125-1
TEL.027-280-8620　FXA.027-280-8621
http://www.kg.kyoai.ac.jp